

目次

JTTA Spring Conference 2014 Program iii

会長講演

第 18 回国際遠隔医療学会の開催と今後の国際協力への展望
原 量宏 (日本遠隔医療学会・会長) 1

特別企画 (1) 遠隔医療における看護職の役割

ルーラルナーシングと遠隔医療 永井 優子 (自治医科大学) 2
テレナーシングの方法：導入時に焦点をあてて
亀井 智子 (聖路加看護大学) 3
基礎看護教育におけるテレナーシング教育プログラムの検討
堀込 由紀 (上武大学) 4

株式会社 DPP ヘルスパートナーズ・ランチョンセミナー

データヘルス計画と Population Health Management :
一次予防から三次予防、そして、コミュニティ・オーガニゼーションへ
森山 美知子 (広島大学) 5

厚労科研報告会等 (1)

道北北部医療連携ネットワーク (ポラリスネットワーク) を用いた遠隔救急トリアージの試み
酒井 博司 (名寄市立総合病院) 7
北海道における眼科遠隔医療の取り組み 守屋 潔 (旭川医科大学) 8
遠隔診療、家族の声を聞く 長谷川 高志 (群馬大学) 9
厚生労働科学研究「遠隔医療の更なる普及・拡大方策の研究」研究概要
長谷川 高志 (群馬大学) 10
呼吸器疾患の遠隔医療 岡田 宏基 (香川大学) 11
循環器疾患における遠隔モニタリングの現状
斎藤 勇一郎 (群馬大学) 13

特別企画 (2) 標準化および産業界から見た遠隔医療

温故知新から拓く遠隔医療・地域医療 山田 恒夫 (医療情報システム開発センター) ... 14
JEITA における遠隔在宅医療に関する議論状況について
鹿妻 洋之 (電子情報技術産業協会) 15
地域医療を支援するシステムにおける遠隔医療について
田中 智康 (保健医療福祉情報システム工業会) ... 16

特別企画 (3) ナイジェリア遠隔医療調査団プレゼンテーション

The challenges of the practice of Tele-Medicine in Africa from the Nigerian Perspective
Albert Edmund O. Thomas Ewendu (The Ecowas E-Health Foundation, Nigeria) 17

厚労科研報告会等 (2)

遠隔医療推進の地域調査より捉えた総合的課題 長谷川 高志 (群馬大学)	18
糖尿病の遠隔医療 中島 直樹 (九州大学)	19
慢性心不全診療における遠隔モニタリングの役割：多職種協働と Person-Centered Care 琴岡 憲彦 (佐賀大学)	20
大災害での母子健康手帳活用に関する考察—東日本大震災後の調査から— 小笠原 敏浩 (岩手県立大船渡病院)	21

見守り分科会・JST 事業報告

服薬支援装置による見守りプロジェクト 鈴木 亮二 (群馬大学)	22
--	----

一般演題 (1)

ホルター心電図の MFER フォーマットを直接解析できるソフトウェアのメリット 鎌田 弘之 (モリーオ(株)・盛岡赤十字病院)	23
オンライン心臓リハビリテーションの冠危険因子是正に対する有効性 萩原 悠太 (北野病院)	24
東日本大震災被災地における携帯電話網を活用した 遠隔での家庭血圧管理の現状と課題について 野口 清輝 (ケルコム(株))	25
町民の健康づくりと ICT の活用 (脳卒中予防のために血圧と気温の関連から ICT を活用してできること) 新田 幸恵 (西会津町役場)	26
難病在宅患者の病-宅連携 ICT 総合支援システム -SCOPE Project- 滝沢 正臣 (信州大学)	28

一般演題 (2)

国境を越えて遠隔医療データを伝送する e-Health の考察 ～インドの条例と National e-Health Strategy Toolkit を読み解く～ 三瓶 宏一 (インド福祉村協会)	29
インドにおけるモバイルヘルスシステムの利用事例 木村 功 (Thousand Success Consulting (株))	30
iPad 利用による遠隔医療導入の可能性—インドのジャイプール近郊地方部の事例— 勝間田 実三 (慶應義塾大学大学院)	31
母子健康手帳の電子化とその標準化の必要性 原 量宏 (日本産婦人科医会)	32
国土交通省広域的地域間共助モデル事業～「香川、福島及び岩手大規模震災時 広域相互支援・地域活性化事業」及び MFER データ伝送実験について 山川 俊浩 (福島県立医科大学)	33
厚生労働省事業がん専門医育成事業、大規模 e-learning の取り組み 長谷川 高志 (群馬大学)	34